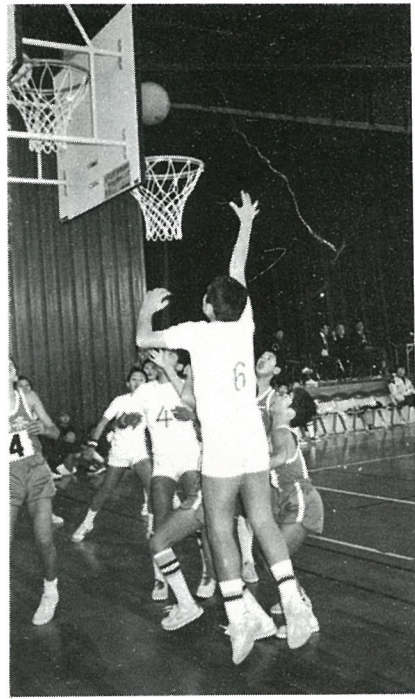


少年・少女 ミニバスケットボール大会

優勝
男子 白浜小
女子 日吉小



みごとなシュート

男子の部 白浜小
女子の部 日吉小

準優勝
男子の部 東陽小
女子の部 東陽小

◎フリースロー大会
優勝
男子の部 白浜小
女子の部 東陽小

準優勝
男子の部 東陽小
女子の部 南条小

青少年の健全育成を目的とした、第三回ミニバスケットボール大会が二月二日、光町体育館で行われました。

当日はお友達や父兄が応援につめかけ、体育館の中は一日中熱気であふれていました。

どのチームも日頃の練習の成果を存分に発揮、特に日吉小女子チームの活躍はすばらしかったです。

なお、結果は次のとおりです。



優勝の白浜小男子



優勝の日吉小女子

子は親に似る

東京都立大学教授・心理学

たぐま たけとし
詫摩 武俊

父と子

子供の様子を見てみると、いろいろなところが親に似ているなどと思うことがあるでしょう。顔立ちや背の高さはもとより、肌を感じ、指の形、運動神経、歯医者さんに行く程度、器用さの質、など無数にあります。

もともと親から素質を受け継いでいる上に、一緒に生活しているのですから似ているのは当然のことです。夫婦のどちらかもっていないものが子供に現れることはない、という人もいます。別の表現でいえば、子供の示している特徴の原型はすべて親の中にあるということになります。

親が自分で欠点と思っていること、他人には言いたくないことが、子供の中にいつの間にか

現れて、やっぱりそうかと思いつながらぬ、かわいそうに思うこともあるでしょう。歌のへたな子供、走るのが遅い子供の様子を見て、自分の子供時代を思い出す親もたくさんいると思いませんか。このときに、それは遺伝だ、仕方がないと言ってしまうのはやりません。そのように言ったらあきらめたりする前に、それがこの子供の人生にどれだけ必要なのかを考えてみてください。

走るのが速い子は、小学校のころはリレーの選手になったりして人気を集めます。ピアノの上達の早い子も幸福です。しかし、すべての子供が運動の選手になるわけではありません。音楽を自分の職業にできる人はごくわずかです。欠点や弱点を直すことよりも長所を伸ばすこと

のほうが楽です。本人にも楽しいことです。おとなになって「オール5」の人、つまり何もかも完全という人はおりません。ひとりの子供の弱点を知るとともに、その子供の良い点を伸ばすことが大切です。この子はどんな子供なのか、つまりその子供の個性を的確に把握して、それを発展させる道を考えること、これは親の大きな課題だと思います。不完全なところをいろいろと親の血を受け継ぎ、その親に育てられているのですから、子供に完全を期待するのはもともと無理なことです。教育に満点はありません。八十点取れば十分でしょう。何がこの子供の長所なのか、それを目先にとらわれず大きな立場から見て、考えること、これは父親の重要な課題だと思います。

社会福祉協議会とは

住民の社会福祉に対する理解と関心を高め、社会福祉関係団体の行う福祉活動の連絡、調整を図ることによって、その地域における社会福祉を増進させること等を目的とする民間の自主的団体です。

光町社会福祉協議会では、住民の福祉増進を図るため、主として次の事業を行っています。

- 1 心配ごと相談所の開設
- 2 善意銀行(ボランティア活動)
- 3 更生資金並び重度身障者及び老人居室増改築資金の貸付

- 4 高額療養費の貸付(四月より実施予定)
- 5 老人福祉増進
- 6 敬老行事
- 7 低所得家庭等の援護事業
- 8 歳末たすけあい運動
- 9 赤い羽根共同募金運動
- 10 町民会館での生活改善結婚式等の実施

連絡場所(事務局)
光町宮川一九〇七―一
光町共同利用施設
町民会館内
電話 四一―三三八
有線 三〇五―〇一